

国家賠償法

第1条 ()行使に基づく()の()と()
国又は公共団体の()の行使に当たる()が、その()を行うに
ついて、()又は()によって()に()を加えたときは、国又
は公共団体が、これを()する責に任ずる。

前項の場合において、()に()又は()な()があったと
きは、国又は公共団体は、その()に対して()を有する。

第2条 ()の()の()・()の()に基づく()
の()と()
() ()その他の()の()の()又は()に()
があったために()に()を生じたときは、国又は公共団体は、これを()
する責に任ずる。

前項の場合において、他に()の()について、責に任ずべき者があると
きは、国又は公共団体は、これに対して()を有する。

第3条 ()と()
第2条の規定によって国又は公共団体が()を()する責に任ずる場合にお
いて、()の()若しくは()又は()の()の()
若しくは()に当たる者と()の() ()その他の()
又は公の营造物の()若しくは()の()を負担する者とが異なると
ときには、()を負担する者もまた、その()を()する責に任ずる。

前項の場合において、()を()した者は、()でその()
を()する責任ある者に対して()を有する。

第4条 ()の()
国又は公共団体の損害賠償の責任については、第3条の規定によるの外、()の規定
による。

第5条 他の()の適用
国又は公共団体の損害賠償の責任について民法以外の他の()に別段の定めがある
ときは、その定めるところによる。

第6条 ()
この法律は、()が被害者である場合には、()の()があるときに
限り、これを()する。